

## ■執筆者紹介（執筆順）



さとう しろう  
佐藤 史郎

1 章、3 章、9 章、12 章、13 章

1975 年、大阪府生まれ

広島市立大学広島平和研究所教授

### 【主要業績】

『核と被爆者の国際政治学——核兵器の非人道性と安全保障のは  
ざままで』明石書店、2022 年

『日本外交の論点〔新版〕』（共編著）法律文化社、2024 年

『E・H・カーを読む』（共編著）ナカニシヤ出版、2022 年



かみの ともや  
上野 友也

2 章、4 章、5 章、6 章、7 章、10 章

1975 年、愛知県生まれ

岐阜大学教育学部准教授

### 【主要業績】

『戦争と人道支援——戦争の被災をめぐる人道の政治』東北大学  
出版会、2012 年

『膨張する安全保障——冷戦終結後の国連安全保障理事会と人道  
的統治』明石書店、2021 年

『国際関係のなかの子どもたち』（分担執筆）晃洋書房、2015 年



まつむら ひろゆき  
松村 博行

8 章、11 章、14 章、15 章

1975 年、大阪府生まれ

駒澤大学経済学部教授

### 【主要業績】

『日本外交の論点〔新版〕』（分担執筆）法律文化社、2024 年

『米中経済摩擦の政治経済学』（共編著）晃洋書房、2022 年

『新グローバル公共政策 改訂第 2 版』（分担執筆）法律文化社、  
2021 年